



富岡市都市と交通の マスタープランの策定について

富岡市 建設水道部 都市計画課

富岡市では、都市計画マスタープランの策定から10年が経過し、その間に富岡製糸場の世界遺産登録・国宝指定や人口減少と少子高齢化により市を取り巻く環境は大きく変化しました。そこで、上位計画である『第2次富岡市総合計画』の将来像である「世界遺産にふさわしいまち とみおか」の実現に向け、よりコンパクトで利便性の高いまちづくりを目指すための「立地適正化計画」と効果的・効率的な公共交通のネットワークの構築を目指すための「地域公共交通網形成計画」を合わせて、持続可能なまちづくりをより戦略的かつ総合的に推進することを目的とする一体的な計画「富岡市都市と交通のマスタープラン」を策定しました。

■ 総論

富岡市の現状等の把握・分析、まちづくりにおける課題・問題点の把握、3つのプランに共通する基本指針等を示しました。

■ 都市計画マスタープラン ～みんなが暮らしやすい土地利用・基盤整備のまちづくりプラン～

富岡市全域を対象に、暮らしやすく、バランスのとれた土地利用と基盤整備を効果的・効率的に進めるため、市全体および市内12地区ごとに土地利用と基盤整備の方針を示しました。

■ 立地適正化計画 ～みんながつながるコンパクトなまちづくりプラン～

都市計画区域を対象に“まちのまとまり”を維持するための方向性を示しました。
ギョッとまとまったまち、便利で魅力的、みんなの顔が見えてコミュニケーションがとりやすいまちをつくるためのプランです。居住誘導区域と8地区に都市機能誘導区域、誘導施設の設定をし、市民の暮らしやすさと“まちのまとまり”の維持に向け、居住機能や都市機能の計画的な誘導を行うための方向性を示しました。

■ 地域公共交通網形成計画 ～みんなが自由に移動できる公共交通づくりプラン～

富岡市全域を対象に、自由な移動を支える公共交通の将来にわたる維持を目指し、地域の公共交通を一体として捉えたネットワークの再構築と今後の方向性を示しました。

市では、乗合タクシーの運行について、抜本的な見直しを図っており、現在の路線定期運行から事前予約で停留所間を運行するデマンド方式へ移行するとともに、様々なサービスを統合する富岡版MaaSの確立を目指しています。

今回のプラン策定に当たっては、平成30年度に策定委員会を立ち上げ、群馬県をはじめ関係機関のご協力により公表することができました。その間、令和元年東日本台風やコロナウィルスの感染拡大などの影響で公表までに遅れが生じましたが、結果的に時世を反映したプランに仕上がったと思っております。共通の目標を掲げる3つのプランを一つにまとめるにあたり、それぞれの視点から今後の市の方向性や将来像を掲げることができました。刻一刻と変わる社会情勢に対応できるようこの3プランに掲げるそれぞれの目標の実現に向けまちづくりを一層、推進して行きたいと思っております。



表紙

3つのプランの構成図